

“北谷高校”への希望が最多！

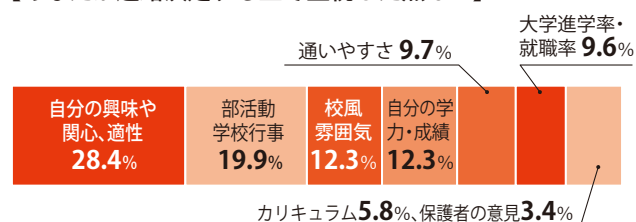
今年度も“普通科に人気が集まる傾向

3学年対象に最終となる第3回の進路希望調査を行いました。進学希望の第一位は「北谷高校」、第二位は「コザ高校」、第三位は「普天間高校」という結果でした。昨年度と同様に普通科に人気が集まる傾向がより強まっています。また専門学科では工業系が多く、商業・農林系が少ないのが最近の特徴となっています。また通信制高校の希望者も目立って増えています。

自分の興味・関心を重視して進路決定

進路決定で重視した点について様々な意見がありましたが、「自分の興味・関心」が全体の28.4%と最多でした。また進路決定の主な相談は圧倒的に「保護者」となっています。

【あなたが進路決定する上で重視した点は？】



【進路決定について、主に誰と相談した？】



第3回(最終)進路希望調査の結果

(11月24日実施)

学校名	学科名	学科計	総数
1 北谷	普通	35	35
2 コザ	普通	29	31
3 普天間	普通	21	21
4 美来工科	ITシステム	5	15
	自動車工学	4	
	コンピュータデザイン	2	
	機械システム	2	
	電子システム	2	
5 北中城	普通	14	14
6 美里工業	電気	5	10
	調理	2	
	建築	2	
	機械	1	
7 球陽	理数	4	7
	国際英語	3	
8 前原	普通(総合スポーツコース)	1	2
	普通(英語コース)	1	
9 中部商業	総合ビジネス	2	2
10 読谷	普通	1	1
11 具志川商業	オフィスビジネス	1	1
12 嘉手納	総合	1	1
13 中部農林	熱帯資源	1	1
14 宜野湾	通信制課程	1	1
15 沖縄高専	情報通信システム工学	1	1
16 興南	総合進学コース	1	1
17 私立高校(県外)		2	2
18 通信制高校(県内)		4	4
19 その他(欠席、未回答、他)		25	25
合計		175	175

※第1希望での集計結果です。第2希望や併願等は集計分に含まれていません。

志望校はもう決まった？

進路・志望校決定となる重要な三者面談

12月6日～9日の4日間、3年生は「三者面談」があります。3年生にとって自分自身の進路・志望校をほぼ決定する最も重要な三者面談となります。十分に考え、悔いのない選択をしてください。

2年生の皆さん、進路決定は今から1年後！

2年生の皆さん、1年後には自分自身の進路選択

3学年対象の「三者面談」が始まります！

の時期であることを自覚してください。まだ先の事と考えず、日々の授業を大切にしながら、苦手教科に取り組んだり、各種検定に積極的に挑戦するのもよいですね。また興味のある高校HPを見て情報収集して、進路決定の準備を始めましょう。



通信制 課程

通信制課程の“特徴”と“魅力”とは？

通信制高校とは、どのような仕組みなのか、授業のことや「卒業に必要なこと」など、ここでは主に公立の通信制高校について紹介します。

通信制課程って何？特徴は？

通信制高校とは、通信教育で学習する高校のこと。卒業要件を満たせば、全日制や定時制と同じように高校卒業の資格を得ることができます。

通信制高校では、主に「単位制」を導入しています。単位制では、学習内容を理解すると得られる「単位」を必要な分(74単位以上)を修得することが、卒業要件となっています。例えば1年で修得できなかった単位は、2年で修得すればよく、最終的に卒業に必要な単位数を修得できればいいので、留年がありません。

卒業するには最低でも3年は必要

全日制・定時制・通信制とも、高校を卒業するには、3年以上の在籍していることが条件になっています。そのため通信制高校も、どんなにたくさんの単位を修得しても3年以下で卒業することはできません。また1年間で修得できる単位数には上限があります。

沖縄県内の“通信制課程”のある公立高校の位置



単位認定試験に合格すれば、単位を修得できる

単位を修得するためには、「①レポートの提出」「②スクーリング」「③単位認定試験」が必要です。レポートとは学校に提出する課題のこと。スクーリングは、実際に学校に登校して授業などを受けることです。これらを通して学んだことを活かし、単位認定試験に合格すると単位が修得できます。なお試験の出題範囲は、日々のレポートが中心です。

単位数は、自分で自由に決めることができる

学校の雰囲気になれるまでゆっくりとしたペースで勉強したい場合は、1年次は少なめに2年次から徐々に修得する単位数を増やしていくことができます。逆に1年次に多めに修得して、3年次は大学進学のための勉強を中心にするといったことも可能です。3年以上かけて卒業することもできます。

自己管理能力が無ければ、卒業できない場合も！

通信制高校は自由度が高い反面、自己管理能力が問われます。(公立・私立共通)

また通信制高校を卒業するには、自分にあった学校選びが重要で、自分にあわない学校へ入学しても、勉強が進まずに卒業できないこともあります。学校によって生徒が計画的に単位を修得できるよう、レポートや試験などのサポートを行う学校もあります。(私立の通信制高校)

1 沖縄県立 泊 高等学校

普通科
定員 250名



2 沖縄県立 宜野湾 高等学校

普通科
定員 80名



※各校とも公立(県立)のみ紹介しています。その他の私立系の通信制学校については省略しています。

“単位制”のしくみを活かした「通信制課程」

各教科に割り振られた単位数を足していき、修得単位数が74単位以上取れば卒業となるので、例えば1つの科目を修得できなくても、同じ学年をやり直す“留年”はありません。自分のペースに合わせて履修科目を選べるため、右図のように1年次の修得単位が少なくても、2年次以降スピードアップして同級生に遅れずに卒業することも可能です。

